

人とともに
社会を生きる

自分を知り
律する

**生徒自身が
成長を実感する
キャリア教育**

課題を見つけ
解決する

夢や希望を
つくりあげる

活動のプロセスに注目し、成長を実感する
生徒の育成を目指すキャリア教育
—「基礎的・汎用的能力」を指標として—

成長を実感する視点とは？

変化が激しく予測困難な現代だからこそ、**生徒自身が成長を実感**しながら生きていくことが大切なのではないでしょうか。その視点として重要になるのが、キャリア教育を通して育む資質・能力である「**基礎的・汎用的能力**」です。



この **指標** を、ぜひご活用下さい！

(裏表紙のQRコード、研究課HPからダウンロードできます)

| 各能力 | 京都市 | 番号 | 行動指標 | 行動指標につながる場面・考え方 |
|------------------|------------------|-----|---------------------|--|
| 人間関係形成 社会形成能力 | 人とともに 社会を生きる力 | A-1 | 意見の違いに注目して聴く | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を尊重し、他者の長所や感情を理解する ・話している人の方を向き、自分の意見と照らしつつ聴く |
| | | A-2 | 自分の考えを正確に伝える | <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい発表になるような原稿を作る ・伝えたい相手の方に体を向け、目を見てはっきりと話す |
| | | A-3 | 他者と協働し、意見をまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの意見を比較し、全員が納得できる意見にする ・司会、記録など、話し合いが円滑に進むよう役割を果たす |
| 自己理解 自己管理能力 | 自分を知り 律する力 | B-1 | 自分のよい点や強み、持ち味を知る | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を通して、自分にとって興味・関心があるものを見つける ・他者からのコメントにより、自分の一面に気付いたり、再認識したりする |
| | | B-2 | 自分の得意な分野や方法を見つける | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことや得意なことを生かし、授業や取組等で貢献する ・得意なことや成功体験を拠り所として自分の可能性を信じ、挑戦する |
| | | B-3 | 達成感を次へのステップとして行動する | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを絶対視せず、感情をコントロールする ・現状に満足せず、達成感を原動力として次の（より高い）目標を設定する |
| 課題対応能力 | 課題を見つけ 解決する力 | C-1 | 課題解決に向けて情報を集める | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やICT等から、課題に関わる資料を集める ・集めた資料の中から、課題解決に向けて使用する情報を選択する |
| | | C-2 | 課題に対し計画を立てて処理・解決する | <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、まず自分でよく考え、計画を立てる ・他者のアイデアに触れ、協力して課題を処理・解決する |
| | | C-3 | 自分の計画を振り返り、次の課題に生かす | <ul style="list-style-type: none"> ・取組の結果だけでなく、過程がどうであったかに注目して振り返る ・うまくいかなかった部分も振り返り、今後の活動で改善して取り組む |
| キャリア プランニング能力 | 夢や希望を つくりあげる力 | D-1 | 学校での学びと将来のつながりを認識する | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において、現在学んでいる内容が生かされていることを知る ・将来のためにも、今を大切にして学校での学びを進める |
| | | D-2 | 働くことの意義を見いだす | <ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしている人の考えや価値観に触れ、働くことに対する自分の考えをもつ ・責任をもって自分に与えられた役割を果たす経験を積む |
| | | D-3 | 自分の進路や将来の生活について考える | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域社会や、今後の社会全体の変化について知る ・自分の目指すべき進路あるいは将来を暫定的に計画し、行動する |

※指標に挙げられた項目だけが「基礎的・汎用的能力」の全てではありませんが、大切な能力として**生徒・指導者双方が共有**できるツールとなるよう、一例として作成しました。

※1つの教科等で、指標の12項目を全て満たさなければならないと考える必要はありません。生徒の実態や学校教育目標等を踏まえ、**付けたい力を更に焦点化**することも考えられます。

どうして指標を活用するの？

指標にある項目は、今までにも当たり前のように大切にされてきた内容ばかりです。ではどうして指標を活用するのか…それは、当たり前の内容であっても**事前に意識した上で授業等に臨む**ことが大切で、**生徒にも意識されていく**からです。

Point① 活動のプロセスに注目する

例えば、グループ活動を設定するとき、どのようなねらいをもって進めますか？



【指標A-2】
自分の考えを正確に伝える

【指標C-1】
課題解決に向けて情報を集める

「基礎的・汎用的能力」は、活動のプロセスにおいて発揮されます。各教科等の枠を越えて大切にされているはず！

Point② 生徒と指導者で共有する



友だちと協力して取り組んでいたね！【指標A-3】

成長を共に実感

指導者が大切にすべきことは？

数学科の授業を例に、実践を進める上で大切にすべきポイントを2点挙げます。

Point① 計画段階で事前に意識化

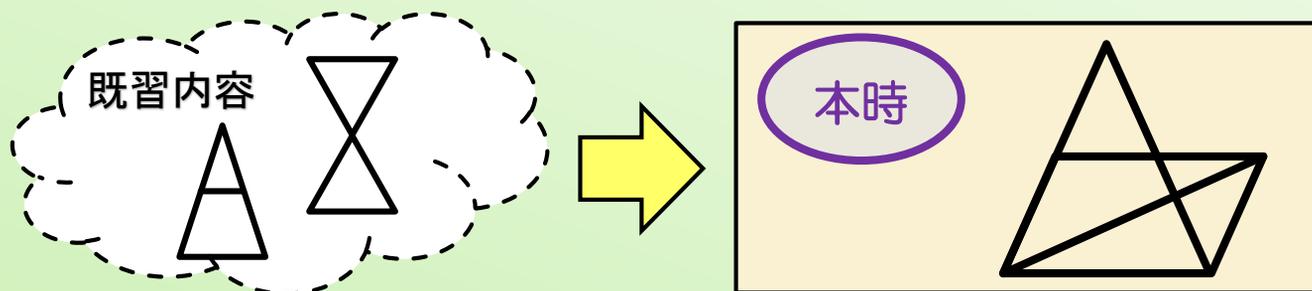
単元 「図形と相似」

本時の目標

友だちと意見を出し合い、
今までに学習した比を組み合わせて問題を解決できる

【指標A】

人間関係形成・社会形成能力



各教科の学習では、教科目標の達成が第一です。教科目標に迫るプロセスにおいて生徒が発揮する力を意識します。

Point② 目標達成に迫るポイントを明示

どこの図形(部分)に注目したか
分かるように説明しましょう

自分でどこまで考えられたか
お互いに伝えるようにしましょう



生徒に意識化を促す

生徒にはこんな効果がある！！

「基礎的・汎用的能力」を視点とすることで、**目標に対する振り返りが充実**し、**生徒が成長を実感する機会**になります。**社会科の授業**を例とします。

効果① 学びを得た要因に着目できる

単元 世界の様々な地域「アフリカ州」
本時の目標

5/5 時間目



国や地域が発展するために、
大切なことは何か考えることができる

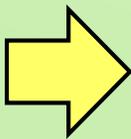
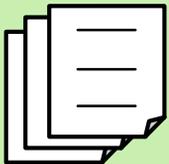
5時間目 10月 28日 (水) 22時20分
今日は、単元を貫く問いに対して、自分達で意見をまとめたあとに皆の考えを交流しました。私は、経済発展をするためには、もともと他の国をマネておたり、経済についても、と学ぶ必要があると思った。

A-1

【指標A-1】
意見の違いに注目して聴く

本時で発揮した指標項目を挙げることで、**活動のプロセスに注目**できます！

効果② 定期的に成長を実感できる



単元等のまとまりで
振り返ると効果的！

【指標A-2】
自分の考えを
正確に伝える

教科書やノートに書いてあることを、そのまま書いていただけと、この学習を通していく中で調べたことや知ったことから考えた自分の意見を書くことができるようになりました。

次の学びへ

このような振り返りをもとに、**生き方探究パスポート**で自身の成長を確かに書き残すことで、自己理解をさらに深め、今後の活動へつなぐことができます。

生徒

共有の輪を 広げたい

指導者

発行 令和3年3月

発行元 京都市総合教育センター 研究課・カリキュラム開発支援センター
〒600 - 8023

京都市下京区河原町通仏光寺西入ル

TEL 075 - 371 - 2705

FAX 075 - 353 - 4851

詳しくはこちらを検索!

